

1. 学力の現状

(1)【大分県学力定着状況調査の結果・分析より(令和3年4月実施5年生)】から

国語				算数				
分類	区分	平均正答率		分類	区分	平均正答率		
		校内	県			校内	県	
教科	全体	★	71.9	65.6	全体	★	70.2	65.2
	知識	★	75.3	69.7	知識	★	75.3	70.5
	活用	★	64.2	56.3	活用	★	60.4	55
学習指導要領の領域等	A 話すこと・聞くこと	★	60.6	57.0	A 数と計算	★	72.2	67.2
	B 書くこと	★	71.2	58.8	B 図形	★	73.6	70
	C 読むこと	★	69.9	67.5	C 変化と関係	★	65.6	60.8
	言葉の特徴や使いに関する事項	★	76.7	68.5	D データの活用	★	55.6	46.3
	情報の扱い方に関する事項	★	53.8	53.3				
	我が国の言語文化に関する事項	★	82.5	75.0				
評価の観点	知識・技能	★	72.2	65.7	知識・技能	★	73.9	68.4
	思考・判断・表現	★	67.1	61.7	思考・判断・表現	★	56.6	53.6
	主体的に学習に取り組む態度	★	66.0	56.0	主体的に学習に取り組む態度	★	58.8	51.4

「国語」の結果について
 ○全体正答率は、目標値・県を大幅に上回っている。領域・観点別でも『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』は、いずれも目標値・県を上回っている。
 ○A「話すこと・聞くこと」についてはすべての内容において目標値・県を上回りよくできている。B「書くこと」については目標値・県平均ともいずれも大きく上回りよくできている。C「読むこと」については、問題の内容を見ると『説明文の読み取り』のみが目標値と同程度となっている。その他の内容はすべて県平均・目標値を上回っている。漢字についても同様によくできている。
 ○観点別でも『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』いずれも目標値・県平均を上回っている。
 「算数」の結果について
 ○全体正答率は、目標値・県ともに上回っている。
 ○領域別で見ると、全ての項目で目標値を上回っている。
 ○観点別に見ると目標値・県平均はすべての観点で上回っている。
 ●『数と計算』で正答率70%を下回る内容が4項目あり、復習と継続した練習が必要である。『図形』ではおよその面積を選ぶ問題が唯一目標値・県平均を下回っている。単位の大きさを量感を伴って理解する必要であり、体験を通じた学習を仕組む必要がある。『変化と関係』が県平均を下回っている。伴って変わる2つの数量では、その2つの数量関係を式で表すことの正答率が低く苦手である。『データの活用』も2項目正答率70%を下回っていて、グラフの読み取りに力を入れる必要がある。

※校内の結果は、県平均・目標値いずれも上回ったもの★、県平均のみ上回ったもの◎、目標値も上回ったもの○で表します。

(2) 単元末テスト結果から(令和3年度) 3教科の平均点(全校集計)

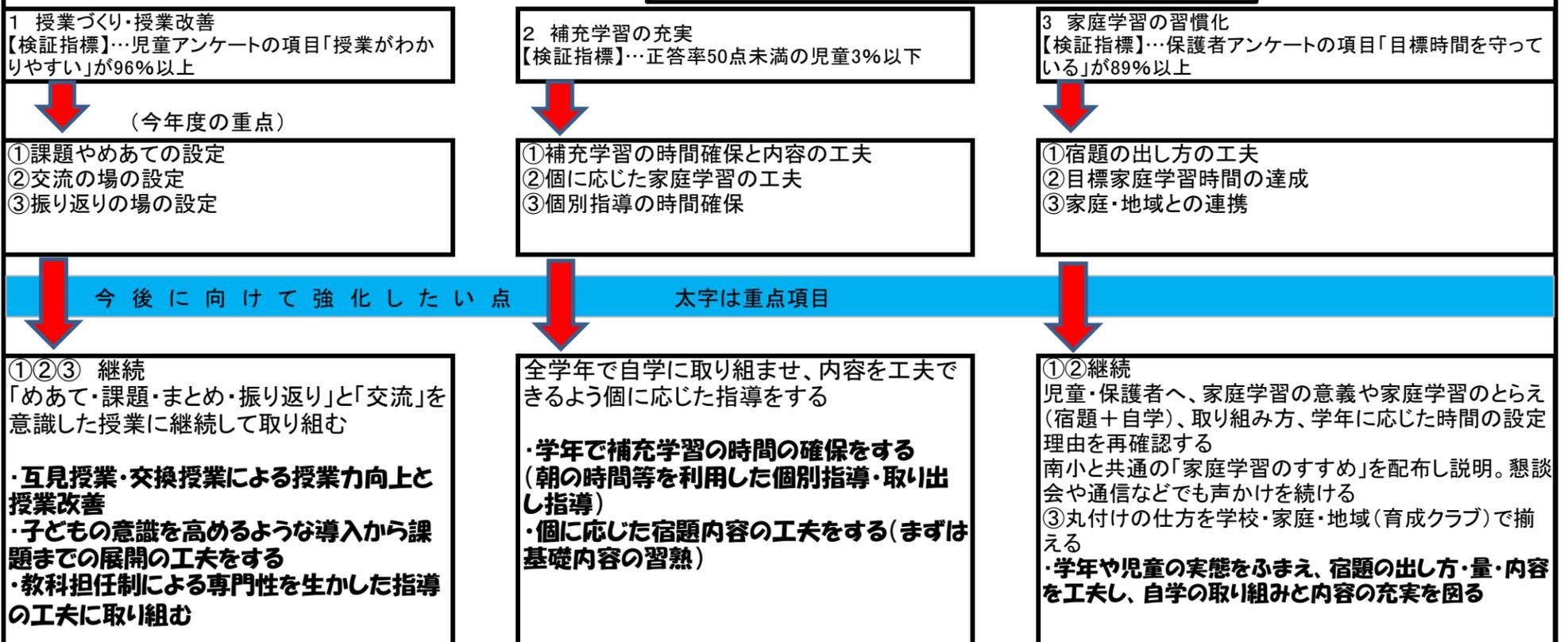
	1学期	2学期	3学期		1学期	2学期	3学期		1学期	2学期	3学期	
国語	知識技能	87%			算数	知識技能	87%		理科	知識技能	89%	
	思考判断表現	86%				思考判断表現	82%				思考判断表現	85%
	教科平均	87%				教科平均	85%				教科平均	87%

知識技能は3教科とも力を付けている。算数、理科の思考判断表現に課題がみられる。低学力層3%以下はクリアできている

2. 学力向上推進計画(学力向上の具体的な取組について)

(1) 学校評価の結果から改善事項を共通理解して進める

前学年の国語・算数の単元末テスト 正答率87%以上



※自分の考えを進んで発表できる学級づくりと、1時間1時間を大切に丁寧な授業に向けての授業改善を基本とする

(2) 学習規律の徹底

- ・授業のあいさつ、「話し方・聞き方あいうえお」、「声のものさし」を全学年で統一し、学びに向かう姿勢を揃える
- ・南小と共通の「家庭学習のすすめ」を配布し、学習用具や持ち物、家庭学習のしかたを統一して指導
- ・朝活動や朝の会等の内容を見直し、授業開始時刻を守り、授業時間の確保をする

(3) 小中一貫した授業力向上と校内研究体制の充実による授業改善

- ・「板書交流会」「互見授業」「交換授業」を通して、よりよい校内実践に学び、日常の授業の改善を図る
- ・小中での授業展開や指導方法の工夫の共有、若手教員の育成
- ・年2回の合同研修会と部会研修を通して、学力と家庭学習の状況の分析と授業改善の方向性の確認